

## 生命の源 一水と食物一

石川久美

### 1. 学年テーマのねらい

● 中学2年生の総合人間科では、「生命と環境」という大きなテーマを、「生命の源一水と食物一」とより具体的にとらえ、生徒自身が身近な生活体験の中から問題を発見し、調査や体験活動を通して追求していく中で、次のような力を育てることをねらいとしている。

- ① 水と食物に関する様々な問題意識を掘り起こす。
- ② 疑問や問題についての調査活動を行い、地域の人々や社会から学び追求する。見学やインタビューなどの体験によって問題意識をより深める。また、追求していく方法を身につける。さらに追求する過程で、集めた情報を整理し、関連づけ、中間発表会などを通して提言できる力を育てる。
- ③ 友人の発表を聞く中で、自分と異なる問題意識を理解し、そのことを通して、自分のあり方を問い直し、社会の中での自己を認識する力を育てる。
- ④ 問題意識をさらに深め、新たな視野の広い問題意識へとつなげていく力を育てる。

### 2. これまでの実践

身近な生活体験の中から自分の疑問を見つける糸口として、はじめに一週間の食事調査を全員が行った。そこで生じた自分の疑問の中から2～3点を選び、4グループにわかれて発表し、質疑応答を行い、自分のテーマを決定した。指導教官を決め、追求方法について検討した。

● 夏休みを利用して、工場見学、実験など実体験のできる追求活動を行った。ここまでの活動をまとめて中間発表する中で新たな疑問、問題を探り、今後の追求の方向を決める。

### 3. 生徒の取り組みの様子

全体の活動の様子とともに、何人かの生徒がどのような追求を展開し、どのような考え方や行動の変化が見られたかを具体的に報告する。

### 4. 今後の課題